

やす

平成26年(2014年) No.37



市議会だより



平成25年第4回臨時会(11月8日)

No.37

発行日/平成26年2月1日

発行/野洲市議会

編集/議会だより編集委員会

〒520-2395

滋賀県野洲市小篠原2100番地1

TEL (077) 587-6034

FAX (077) 586-4300

野洲市議会ホームページ

野洲市議会

検索

目次 CONTENTS

- 議員名簿…………… P2
- 臨時会報告・常任委員会等一覧…………… P3
- 定例会報告…………… P4
- 常任委員会報告…………… P6
- 一般質問…………… P8
- 政務活動費報告…………… P13
- 議会報告会・懇談会報告…………… P14
- 出前懇談会・次回定例会予定…………… P16

平成25年 第4回臨時会(初議会) 平成25年 第5回定例会

平成25年11月8日開催の改選後初となる第4回臨時会で、議長・副議長の選挙、監査委員、各委員会委員および委員長、副委員長の選任等が行われ、野洲市議会の各委員会等の構成が決まりました。当日は、議案5件について審議し、発議1件の提案を行いました。

平成25年11月28日開会の第5回定例会では、議案22件、請願2件、意見書5件について審議しました。また、野洲市の都市基盤整備についての調査・研究等を行うため、都市基盤整備特別委員会を設置しました。



野洲市議会議員名簿

任 期：平成29年10月31日まで (議席番号順)

議席	議 員 名	所属会派	議席	議 員 名	所属会派
1	 中 塚 尚 憲	所属なし	11	 市 木 一 郎	野洲政風会
2	 稲 垣 誠 亮	所属なし	12	 坂 口 哲 哉	野洲政風会
3	 北 村 五十鈴	所属なし	13	 山 本 剛	野洲ネット
4	 栢 木 進	野洲政風会	14	 丸 山 敬 二	野洲ネット
5	 岩 井 智恵子	野洲政風会	15	 鈴 木 市 朗	野洲ネット
6	 上 杵 種 雄	野洲政風会	16	 矢 野 隆 行	公明党
7	 東 郷 正 明	日本共産党 野洲市議会 議員団	17	 梶 山 幾 世	公明党
8	 太 田 健 一	日本共産党 野洲市議会 議員団	18	 高 橋 繁 夫	野洲政風会
9	 野 並 享 子	日本共産党 野洲市議会 議員団	19	 河 野 司	野洲政風会
10	 井 狩 辰 也	野洲政風会	20	 立 入 三千男	野洲政風会

平成25年 第4回臨時会提出案件の概要と審議結果

【全員賛成で可決した案件】

分類	議案番号	件名	審議結果	概要	付託委員会
補正予算	議第90号	平成25年度野洲市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	湖南広域行政組合から旧東消防署解体工事業務を受託したことによる受託事業収入、旧東消防署解体に伴う工事監理委託及び工事請負費の計上など 補正額 5,908万1千円の追加	—
その他の	議第91号	工事請負契約について（新野洲クリーンセンター造成工事）	原案可決	契約金額 5億3,300万1,150円 契約の相手方 吉野組・辻工務店建設工事共同企業体	—
	議第92号	野洲市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案可決	澤田 正史 氏（平成25年11月18日から4年間）	—
	議第93号	野洲市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案可決	井狩 久和 氏、村井 正純 氏、三久保 佳辰 氏（平成25年11月18日から3年間）	—
	議第94号	野洲市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案可決	新たに議会選出の監査委員として、市木 一郎 議員の選任について同意	—
発議	発議第7号	野洲市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	予算常任委員会の委員定数を20人から議長を除く19人に改めるための所要の改正	—

正副議長、常任・特別委員会等一覧

議長	立入 三千男
副議長	梶山 幾世
監査委員	市木 一郎

委員会名	委員長	副委員長	委員名		
総務常任委員会（7人）	井狩 辰也	栢木 進	山本 剛	北村五十鈴	坂口 哲哉
			梶山 幾世	野並 享子	
文教福祉常任委員会（7人）	丸山 敬二	岩井智恵子	中塚 尚憲	稲垣 誠亮	市木 一郎
			太田 健一	立入三千男	
環境経済建設常任委員会（6人）	高橋 繁夫	上杵 種雄	東郷 正明	矢野 隆行	河野 司
			鈴木 市朗		
予算常任委員会（19人）	鈴木 市朗	河野 司	議長を除く議員		
議会運営委員会（6人）	河野 司	坂口 哲哉	市木 一郎	丸山 敬二	矢野 隆行
			野並 享子		
議会改革特別委員会（9人）	野並 享子	矢野 隆行	栢木 進	岩井智恵子	東郷 正明
			上杵 種雄	井狩 辰也	市木 一郎
			丸山 敬二		
都市基盤整備特別委員会（19人）	矢野 隆行	太田 健一	議長を除く議員		
議会だより編集委員会（6人）	山本 剛	稲垣 誠亮	栢木 進	岩井智恵子	東郷正明
			上杵 種雄		

一部事務組合議会議員（野洲市議会選出）

組合名	議員名			
湖南広域行政組合（4人）	坂口 哲哉	矢野 隆行	河野 司	野並 享子
守山野洲行政事務組合（3人）	山本 剛	栢木 進	上杵 種雄	

平成25年 第5回定例会提出案件の概要と審議結果

【全員賛成で可決・採択した案件】

分類	議案番号	件名	審議結果	概要	付託委員会
補正予算	議第96号	平成25年度野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	職員給与等繰入金の減額と人件費の精査、人間ドック等健診費用助成金の増額など 補正額 794万6千円の減額	予算
	議第97号	平成25年度野洲市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	職員給与等繰入金の増額と人件費の精査 補正額 98万7千円の追加	予算
	議第98号	平成25年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	職員給与等繰入金の減額と人件費の精査など 補正額 1,226万7千円の減額	予算
	議第100号	平成25年度野洲市墓地公園事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	墓地公園整備基金の利子確定による減額、台風18号被害に伴うごみステーション修繕料の計上など 補正額 10万9千円の減額	予算
	議第101号	平成25年度野洲市工業団地等整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	利率減に伴う借換債の減額、借換債利子確定に伴う不用額の減額 補正額 280万円の減額	予算
	議第102号	平成25年度野洲市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	人件費の精査 収益的支出補正額 59万4千円の減額 資本的支出補正額 73万5千円の減額	予算
	議第116号	平成25年度野洲市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	台風18号による水防活動時の物損事故に対する損害賠償保険金、所得税源泉徴収漏れによる個人事業主からの返還金と本税、不納付加算税、延滞税の支払など 補正額 1,373万3千円の追加	—
決算	議第103号	平成24年度滋賀県自治会館管理組合一般会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	原案可決	歳入決算額 3億1,054万3,259円 歳出決算額 3億 930万9,256円	総務
条例	議第104号	野洲市新型インフルエンザ等対策本部条例	原案可決	新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づき、対策本部に関し、組織等の必要な事項を定める条例制定	総務
	議第105号	野洲市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	原案可決	行政委員会の委員報酬の額について、野洲市特別職報酬等審議会の所掌事項とする所要の改正	総務
	議第108号	野洲市使用料条例の一部を改正する条例	原案可決	野洲文化ホール(主催者控室)の料金錯誤の解消や施設間の料金区分の整合を図るための所要の改正	文教福祉
	議第109号	野洲市督促手数料及び延滞金徴収等に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	地方税法の一部改正を受け、市税条例が改正され市税に係る延滞金の軽減措置が講じられたことに伴い、他の保険料、使用料等に係る延滞金についても同様の措置を講じるための所要の改正	総務
	議第110号	野洲市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律の成立に伴う所要の改正	環境経済建設
	議第111号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決	認定路線…富波野田3号線、馬場富波線 廃止路線…富波野田3号線	環境経済建設
その他	議第112号	滋賀県市町土地開発公社の解散について	原案可決	滋賀県市町土地開発公社の解散について、議会の議決を求めるもの	総務
	議第113号	和解のあっせんの申立てについて	原案可決	篠原小学校管理棟改築(建築主体)工事で発生した損害額の一部負担を滋賀県に求めることについての申立て	—
	議第114号	権利の放棄について	原案可決	平成25年4月22日に民事再生手続開始の決定があった申立事件において、再生計画の認可決定の確定を条件とする一般廃棄物搬入手数料、督促手数料や延滞金の支払請求権などの権利放棄	環境経済建設
	議第115号	権利の放棄について	原案可決	平成25年4月22日に民事再生手続開始の決定があった申立事件において、再生計画の認可決定の確定を条件とする売渡金の一部などの権利放棄	環境経済建設
請願	請願第1号	県立野洲養護学校にかかわる請願書	採択	国に、特別支援学校の「設置基準」を作るように意見書をあげること、県に特別支援学校の適正規模の基準を明らかにし、基準に応じた学校を増設するよう意見書をあげることなどの請願	文教福祉
意見書	意見書13号	県立野洲養護学校にかかわる意見書(案)	原案可決	特別支援学校の適正規模の基準を明らかにし、基準に応じた学校を増設や寄宿舎の入居希望枠について現状に対応できる体制の構築を求める意見書	—

【賛否が分かれた案件 ○：賛成 ●：反対】

分類	議案 番号	件 名 及 び 概 要	審議 結果	中塚	稲垣	北村	栢木	岩井	上村	東郷	太田	野並	井狩	市木	坂口	山本	丸山	鈴木	矢野	梶山	高橋	河野	立入	付託 委員会	
補正 予算	議第 95号	平成25年度野州市一般会計補正予算 (第5号) 法人市民税法人税割(現年課税分)の増額、 柿ノ木原踏切の通学路整備事業に伴う社会 資本整備総合交付金の決定、大豆や水稲な どの環境保全型農業直接支援交付金の増額、 野州市文化スポーツ振興事業団の解散に伴 う精算金の計上、財政調整基金等への積立、 中里駐在所移転整備に向けた旧東消防署分 署の解体設計委託料の計上など 補正額 1億4,434万1千円の追加	原案 可決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	予算
	議第 99号	平成25年度野州市下水道事業特別 会計補正予算(第2号) 職員給与費等繰入金の減額と人件費の精査、 企業会計移行に向けた基本計画策定業務委 託料の計上 補正額 377万8千円の追加	原案 可決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	予算
条 例	議第 106号	野州市税条例の一部を改正する条例 地方税法の一部を改正する法律の公布及び 政省令の改正に伴う所要の改正	原案 可決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	総務
	議第 107号	野州市国民健康保険税条例の一部を 改正する条例 地方税法の一部を改正する法律の公布及び 政省令の改正に伴う所要の改正	原案 可決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	総務
請願	請願 第2号	TPP交渉からの撤退を求める請願 TPP交渉内容の国民への公表と、政府が交 渉から撤退することを求める請願	不採択	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	環境 経済 建設
意 見 書	意見書 第12号	特別支援学校の設置基準の策定等に関 する意見書(案) 特別支援学校の「設置基準」の策定を求め る意見書	原案 可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
	意見書 第14号	憲法第25条に基づく社会保障の充 実を求める意見書(案) 医療、介護、年金、子育てなど社会保障の 分野で負担増と給付減にならないよう「社 会保障構造改革」ではなく、憲法第25条に 基づく社会保障の充実を求める意見書	否決	●	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—
	意見書 第15号	軽自動車税の課税強化に反対し現行 税率の維持を求める意見書(案) 軽自動車税について、今後、さらなる引き 上げ等の可能性もあり、負担増とならない よう課税強化に反対し、現行税率の維持を 求めるための意見書	否決	○	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	—	—
	意見書 第16号	特定秘密保護法の強行採決に抗議し 廃止を求める意見書(案) 国民の知る権利や言論の自由など基本的 人権の尊重のため、特定秘密保護法の強 行採決に抗議し、廃止を求める意見書	否決	○	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	—	—

※議長(立入三千男議員)は採決に加わらない。

用語解説

【請願】

国や地方公共団体等に文書で希望を述べることを請願といいます。

議会への請願は、必ず請願内容の趣旨に賛同する紹介議員の署名が必要となります。提出された請願書は常任委員会などで審査し、本会議で採択か不採択かを決定します。

【意見書】

国会や国、県などの関係機関に対し、市の公益に関することについて、議会の意思をまとめて提出する文書のことを意見書といいます。意見書案は、議員が提出し、本会議で可否を決め、可決されたものは、関係機関へ提出します。



総務常任委員会

◆平成24年度滋賀県自治会館管理組合一般会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

問 今後、滋賀県自治会館のような会館的なものはつukらないのか。

答 組合として今回は新たにビルを持たないという形で合意が得られた。

◆野洲市新型インフルエンザ等対策本部条例

問 インフルエンザ等の対策設置本部というのは、どの時点で設置されるのか。

答 現在の法律の中で市町村は、緊急事態宣言以降に設置となっているが、法律に基づかない任意の対策本部を設け、規定により任意の設置団体という形で、その時点で判断していく。

◆野洲市税条例の一部を改正する条例

問 特別徴収は65歳以上の年金を受けている方からできるが、特別徴収と普通徴収の割合は。株等の配当を受けている方はどのぐらいか。今回の改

正でどのような影響があるのか。

答 年金の特別徴収の義務者は3,710人であり、そのうち普通徴収の方は概数で約250人である。また、株式や社債の配当を受ける方は、市内で79人、株式の譲渡で所得が上がっている方は15人である。配当割の影響額は57万9,000円、また、株式の譲渡所得割で20万8,000円である。

問 株式投資や配当所得を受けている方については、優遇税制と思うが。

答 地方税法で決まっており、経済の活性化のために、個人投資家の方が参加しやすいなど、安定的な資産の形成も含めて協力をさせていただくための優遇策である。



環境経済建設常任委員会

◆野洲市営住宅条例の一部を改正する条例

問 市営住宅で入居者が死亡し、居住の部屋にかなりの所有物がある場合、それを空にして退去する義務が、市営住宅条例に規定されていない。市はどのように対処するのか。

答 市営住宅条例や公営住宅法等では、原状回復義務について明確に規定していないが、国土交通省の住宅局のガイドラインの解釈に基づき、対処している。

◆権利の放棄について

問 民事再生法で返ってくる債権（一般廃棄物搬入手数料等）の額はどれぐらいか。

答 今回95%の債権の放棄をお願いしており、市に返ってくる金額としては、5%分に相当する3万7,500円が再生計画で明示されている。また、再生計画の規定の中には、10万円を超える部分を放棄して10万円を一括弁済できる選択肢もある。



文教福祉常任委員会

◆野洲市使用料条例の一部を改正する条例

問 平成17年の改定時から8年を経過して条例を改正しようとするのはなぜか。

答 文化・スポーツ施設は、昨年までは文化スポーツ振興事業団で指定管理により運営していた。今回直営になり、その業務内容を精査したとき、条例の料金内容に錯誤があり、本来条例に規定していない金額を徴収していたことが判明したので、これを改めようとするものである。

問 その間、特に問題はなかったと言うことでいいか。

答 特にトラブルなどはなかったと聞いている。



予算常任委員会

総務分科会

◆平成25年度野洲市一般会計補正予算(第5号)

問 まちづくり寄付金の基金積み立てを取り崩してもう少し使えるのではないか。

答 今年度から、この寄付金を市民活動の関係で積極的に使っていく方向で調整している。

問 コミセンみかみ大ホールの空調設備の修繕費は、19日の議会の議決後でないと入札ができないのか。

答 執行には予算の議決が必要なため、入札は今議会が終わってからになる。

問 旧東消防署の解体工事の増額の理由は。

答 調査費や材料費等の高騰を見込んでの増額分である。それを湖南4市で按分し、野洲市の負担分が増額となる。

問 消防団活動費の災害補償費の対象者は何人か。
答 1人である。医療保障、投薬代、休業補償を支払っている。特定財源であり、共済基金から収入がある。

問 財政調整基金は今後も積み立てていくのか。

答 平成24年度の剰余金、2月補正等で事業の精算等により出てくる額を見込んで、今後も積み立てる予定である。

問 コミュニティバス運行費と消防費で、燃料費の高騰があげられるが、いくら換算か。

答 両方とも軽油であり、当初予算の見込みでは1リットル当たり120円で計上していたが、実勢の単価138円で高騰した分を計上した。

問 国民保護協議会委員報酬が執行残となっている理由は何か。

答 委員の中で報酬の必要な方の方に支払いをしたためである。

文教福祉分科会

◆平成25年度野洲市一般会計補正予算(第5号)

問 地域生活支援事業費における移動支援事業の業務内容と利用人数および委託先は。

答 支援が必要な障がい者の方にヘルパーが付き添い外出支援を行う業務で、利用人数は平成24年度実績で90人、委託事業所は15か所である。

問 高齢者住宅小規模改造費助成金の内容は。

答 介護のための手すり設置、段差解消、風呂、トイレの改造に対し助成。2分の1補助、限度額25万円。

問 子ども・子育て関連法改正に伴う新システム等構築委託の委託先および委託時期はいつ頃か。

答 基幹系電算システムの委託業者と随意契約を考えている。契約審査会に諮り、1月ぐらいの契約を目途としている。

問 教育振興事業の外国語指導助手派遣委託先は。

答 4社によるプロポーザル形式の入札により、

株式会社インタラックを委託先とした。

問 ふれあい教育相談センターのことばの教室の指導内容、体制および相談対象者は何人か。

答 ことばの遅れや発音指導等が必要な幼児、児童に対し、職員3人体制で事業を行っている。指導が必要な対象者は、幼児、児童合わせて33人である。

問 小学校の遊具修繕費が当初予算でなく、なぜ追加計上されているのか。

答 今年6月の遊具点検結果で算定することとなっていたため。

問 野洲小学校普通教室改修工事について、児童の見込み数や工事の内容は。

答 次年度の2年生の教室が1クラス分不足するため、多目的教室を普通教室に改造する。

◆野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

問 人間ドック等の新規受診者と再受診者の内訳は。

答 新規受診者37人、再受診者45人である。

環境経済建設分科会

◆平成25年度野洲市一般会計補正予算(第5号)

問 野洲駅周辺都市基盤整備事業費で工事請負費の減額補正の理由は。また、平成26年度秋までの工事に影響はないのか。

答 工事請負費の減額は、当初予算と交付対象額に差が生じたことによるもので、交付金は平成25年度予算で確保できており、工事に影響はない。

問 クリーンセンター中間処理施設費の工事請負費の増額理由は。また、当初予算で対応すべきと

考えるが、緊急性はあるのか。

答 ガス冷却室の下部耐火コンクリートの補修等と空気予熱器のバイパス工事を行う補正予算であり、当初予算に計上していなかった。

運転に支障が生じることから緊急扱いの補正となった。

問 妙光寺の市道の舗装工事について、現状では未舗装なのか。台風18号の影響があったようだが、その内容は。

答 未舗装の市道であり、台風の大雨で路面が15センチ程度削られたものである。災害復旧事業の対象とならず、通行の支障となっていることから、単独費で路面復旧するものである。

一般質問

11月定例会で16人の議員が質問しました。

掲載内容は代表的な質問、答弁の概要のみです。

詳細は会議録またはインターネット録画中継をご覧ください。

会議録は市役所情報公開コーナー、図書館、各コミセン等で閲覧できます。

また、市議会ホームページでも公開します。



選挙管理委員会の対応

まる やま けい じ
丸 山 敬 二

問 小篠原自治会館2階への誘導不備を指摘してきたが、どのように改善したのか。

答 1階正面玄関に、エレベーターへの案内表示板と案内役1名を配置している。

問 投票所入場券送付をコスト削減の観点から同一世帯をまとめてはどうか。

答 あまりコスト削減にはつながらないし、送付のための作業量が増えるので従来どおりとする。

◎台風18号に対する地域防災計画との検証を

問 台風18号の大雨で、妓王井川が氾濫したことによる野洲駅南口一帯の浸水に対する当面の対策は。

答 県に抜本的対策を要望したところ、河床を約30センチ掘削するなどの回答を得た。

問 今回の経験を踏まえ、地域防災計画の検証は。

答 課題、問題点を整理し検証を行う。



第79回国民体育大会に向けての準備は

うえ すぎ たね お
上 枚 種 雄

問 滋賀県で開催される予定の国民体育大会に向けて本市での委員会の設立準備がなされているか。

答 県ではまだどのような規模で大会を実施するか決まっていないため、県下の市町では委員会は立ちあがっていない。

問 県では各競技の会場を市町に割振ると決めているが、本市からの要望は出ているのか。

答 県が責任を持って選定するというのがルールなので、手は挙げていない。

◎台風18号の対応について

問 野洲市防災計画による機能が発揮されたか。また、

水防対策編による訓練は年間、何回でどのようにしたか。

答 防災計画に位置付けている市内のパトロール実施や浸水箇所の土のう積み作業、また、二次災害の防止、避難所設置、誘導、運営とできる限り活動した。訓練は年1回総合防災訓練として、各学区持ち回りで、地域と行政、消防等関係団体が一体となった総合訓練を実施している。



台風の大雨で氾濫した妓王井川(野洲駅南口周辺)



平成25年度 中期財政見通し について

い かり たつ や
井 狩 辰 也

問 平成26年度の投資的経費を比較すると平成25年度の中期財政見通しが平成24年度の中期財政見通しより約5.3億円減である。この要因は何か。

答 平成26年度の投資的経費の見通しの差約5.3億

円の要因は、クリーンセンター整備事業費約5億円増に、幼保一元化事業費約7億円減、学校施設整備事業費約2億円減の差引が要因である。

問 平成27年度の投資的経費の8.9億円減の要因は何か。

答 幼保一元化事業費の精査によるものである。

問 中期財政見通しの数字の正確さを高めるために、幼保一元化等の事業を中期財政見通しに見込むべきではないか。

答 年度も含めて事業費の精査ができたものから見込んだ。

問 都市計画税による財源確保を考えているのか。

答 現状では考えていない。



副市長の選任 について

いち き いち ろう
市 木 一 郎

問 副市長の選任について、現在の進捗状況は。

答 ふさわしい方がおられたら就任いただきたいと思っているが、まだ人選が完了していない。

問 「野洲市副市長の定数を定める条例」についてどう考えているのか。

答 地方自治法の161条で、市町村には副市町村長を置くとなっている。人数は各自治体の条例で定めると書いてあり、人数が定まっているだけである。

反問 (市長) 今の質問の意図は何か。法令とか制度の観点からか、機能、野洲市政に滞りがあるという観点からなのか。

答 (市木) 制度の問題を言っている。また、課題山積する中で、補佐役は必要である。それとやはり、職員とのパイプ役は必要であると判断している。

問 副市長の空席が、3年半以上続いているが、条例改正が必要では。

答 選任せずして、放任する状態なら法の趣旨に反するという解釈である。



自治体による婚活 支援で少子化対策 の推進を

や の たか ゆき
矢 野 隆 行

「婚活」支援を少子化対策の効果的な取り組みの一つと位置付けて、地域の実情に応じた支援策を検討推進することを提案する。

問 本市の婚姻届の件数は。

答 平成19年328件、平成20年310件、平成21年323件、平成22年307件、平成23年287件、平成24年289件、平成25年11月26日までの件数は243件である。

問 本市の少子化による対策は。

答 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり、子どもが健やかに育つ環境づくり、子育て、子育て

を支える地域づくりを掲げ、学童保育所、子ども園の整備などの事業を進めている。

問 地域少子化危機突破支援プログラム推進事業についての考えは。

答 総合的に継続的な少子化対策を検討していくべきと考えている。

問 「出会いの事業」等について今後の計画は。

答 今のところ取り組む予定はない。





第1回南口構想 ワークショップ に参加して

きた むら い す す
北 村 五十鈴

問 執行部のワークショップに対する理解は。

答 参加者同士が建設的な意見を交わしお互いの理解を深める事であると考えている。

問 ワークショップは双方向性のものだと理解しているが、今回のワークショップはどうだったか。冒頭

の松岡先生の説明ではまだフリースタイルに聞こえたように思えるが。

答 松岡先生の発言は一からの議論ではなく、この1年半の検討を土台としているという内容であった。

問 事務局と松岡先生との打ち合わせに不備はなかったか。

答 打ち合わせは十分にした。

問 市民には大量の情報を正確に理解してもらっているか。また、駅前の病院は賛成でもその場所や規模については、便利だけを追求せずに本市の玄関という観点からも、もう一度駅前整備のランドデザインの検討を願いたい。

答 市民の望む駅前像にしていけたらという思いで2回目のワークショップに臨みたい。



高齢者福祉 サービスの充実を

いわ い ち え こ
岩 井 智恵子

◎配食サービス事業について

問 65歳以上のひとり暮らしなどの高齢者で、料理が困難な人などを対象に対面で昼食を配達し、安否確認も行うとあるが、配食が月～金（土日・祝日・年末年始除く）のみとは如何なものか。

答 土・日の配食については、ショートステイに利用者が多いことや、家族等の支援が可能な方がおられ

る事で、対応していない。夕食や土日・祝日の希望者は、個々に手配されていると確認している。

問 1食950円（個人負担400円、市補助550円）は、安否確認付きといえども決して安くはなく、市場を見据えながら検討してほしい。

答 年度の切替えまでには、検討をする。

◎徘徊高齢者家族サービス事業について

問 市内では、1,200人もの認知症の恐れがある現状の中で、簡易型携帯発信機器普及率が非常に低いが、介護関係者等のPRや周知徹底はどうなっているのか。

答 広報や介護ニュースではお知らせしているが、発信機の苦手な方や認知症であることを知られたくないご家族等があり、利用につながらない。民生委員や地域ぐるみの協力を得ながら、利用を促進していきたい。



JR新駅設置の 今後の展望は

か や き す す む
栢 木 進

問 平成24年度に策定された第1次総合計画では、JR野洲駅と篠原駅間の新駅設置計画が掲げられている。この新駅設置について平成24年度と今年度の取り組み、また、その課題と今後の展望および設置目標時期について問う。

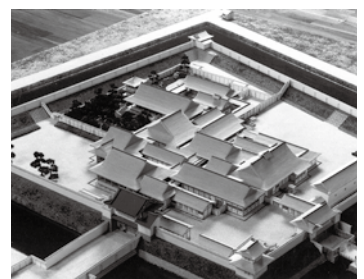
答 平成24年度の取り組みについては、新駅の可能性を追求している旨をJR西日本に対して伝え、JR側の考えについて意見交換を行うなど事務レベルでの情報交換を行った。今年度の取り組みについては、他市の新駅設置の取り組み状況等の情報収集や課題

整理に努めていく。

◎永原御殿の整備について

問 永原御殿の整備に係る市の考え方と、その整備に向けての課題と今後の展望および整備目標時期等について問う。

答 御殿の歴史的遺産としての価値は高いが、他の事業、施策を多く抱える市にとって、その優先順位は必ずしも高くない。整備時期、目標等について、明確に答えられない。なお、御殿の建物の復元模型の作成、また一部測量調査や今日まで少しずつ集めてきた資料などの成果は保有しており、市独自でできる調査・研究、資料の収集などを地道に今後も続けていく。



永原御殿復元模型
(野洲市歴史民俗博物館所蔵)



ひきこもりについて

やま もと つよし
山本 剛

問 現在、ひきこもりが社会問題となっている。顕在化しにくい中で家族や当事者は困難や苦悩を抱えている。野洲市における現状は。

答 健康推進課、発達支援センターおよび市民生活相談課で、今年度は16件の相談に対応している。年齢

は20歳代から40歳代である。顕在化しにくいうえに対応に時間がかかる問題であり、重要な課題であると受け止めている。

問 支援の取り組みは。

答 県のひきこもり支援センターとも連携を図り、相談支援に取り組んでいる。また、発達支援センターで社会参加促進事業への参加を促し、社会参加に向けた支援を行っている。民生委員や障がい者団体、一般市民とともに講演会などの啓発事業にも取り組んでいる。

問 今後の支援の方向性は。

答 個人の問題ではなく、社会問題であるとの認識のもと、関係部署・機関と一層の連携を図りつつ個々のケースに応じた適切な対応に努めていく。



雇用の促進と賃上げを

とう こう まさ あき
東郷 正明

問 市内の高校から地元企業への就労が少ない。工業振興助成金を交付している企業には特に積極的な雇用を市として要請願いたい。

答 年度当初に要請している。また、市内事業所の求める人材を育てることや起業など広い観点からの雇用促進に取り組んでいきたい。

問 社会保障の切り捨てや4月からの消費税増税で市民の暮らしはたいへんである。企業に対して賃上げ要請を。

答 事業所の業績にもよるので、一律に賃上げ要請す

るのは、好ましくないと考える。

◎特定秘密保護法について

問 特定秘密保護法について、市長の見解は。

答 憲法で保障されている国民の知る権利を防げる恐れがあり、もっと慎重な制度設計が必要と考える。

◎TPP参加と減反政策の打ち切りについて

問 TPP参加は、取り返しのつかない不利益をもたらし、国に撤退を求めることが日本の農業を守る道だと考えるが。

答 農業に与える影響は多大である一方、参加しないと国際的な枠組みから外れるデメリットがある。農業や雇用などの重要な部分が守られる対応を政府に期待したい。

問 米の減反廃止について

答 安易な減反政策の中止というのは危険なことだと思っている。もう少し政府の出方を見て、判断をしたい。



野洲病院前交差点の通学路の安全確保を

おお た けん いち
太田 健一

問 野洲病院前交差点の通学路の安全に対する認識は。

答 バリアフリー工事において、現状で可能な安全対策は実施できている。

問 根本的な解決策と



野洲病院前交差点

して交差点改良が必要だと考えるが。

答 計画をしているが、渋滞緩和と歩道の安全性確保のために再検討を行なっている。

問 保護者の方々から危険性の声もあり、緊急的・応急的な対策が必要。

答 警察との協議が必要だが、歩道のポールの数を増やすことなら可能だと考える。

◎台風被害に対する災害復旧の充実を

問 妙光寺山の山崩れや妓王井川の氾濫、田畑への被害に対する対応や復旧工事は。

答 県への要望による実施や雨水幹線の整備による排水対策の実施、交付金による事業などで対応。

問 今後の被害に備え、国の査定前着工制度の活用を。

答 あらゆる手段を活用していく。

【その他の質問】 高齢者が安心できる投票所バリアフリー化を。



新病院の 建設場所は 議論が必要

の な み きょう こ
野並 享子

問 市は、11月26日の「市立病院整備基本構想検討委員会」において駅ロータリーに一番近い場所に建設するA案を提案。市長が「市民の命と健康を守る総合病院は必要」と整備を決意されたことは評価するが、建設場所については景観上市民を巻き込んだ議論が必要。

答 A案とは決まっていない。決めるのは、市民と議会だと思う。

◎来年度予算編成

問 人権関係の人件費が22人、1億3千万円近くあり、施策も特別なものがある。聖域化すべきでない。

答 聖域化しないように順番にやっている。

◎国保税1世帯1万円の引き下げを

問 県下で3番目に高い国保税。基金残高と繰越金で2億円余りもあり、1世帯1万円引き下げても約6千万円であり、会計上、引き下げは可能。

答 基金の適正規模は、国の通知の計算でも2億円近くになり、引き下げる合理性はない。

【その他の質問】「雨水幹線と排水対策」「消費税の影響について」



台風18号に 対する体制 について

すず き いち ろう
鈴木 市朗

問 9月15日午後6時48分の大雨警報発令から9月16日午後8時30分水防解除までの経過を問う。

答 水防初動体制として、道路河川課職員による情報収集、午後9時に水防第5班を招集、16日午前0時水防奇数班招集、午前4時30分全職員招集、午前8時32分に日野川沿川住民避難指示、午前9時17分に野洲川沿川住民避難準備発令、午後1時20分に災害対策本部を解散。

問 消防署、消防団との連携は。

答 対策や経過の連絡を十分密にしながら連携した。

問 妙光寺山の2か所の土砂崩れは、関西電力の線下部分の立木の伐採が関係していないか。

答 関西電力には申し入れをしたが、鉄塔敷きの位置のずれや土砂崩れ現場から30メートル以上離れていることなどから、関西電力より原因は不明との回答を得ている。

問 1日1万人近い利用の駅前排水対策は。

答 雨水排水事業、雨水幹線事業の整備をきめ細かく実施していく。また、妓王井川下流部分については、川の真中に低い部分を作り断面を確保し、流れを確保する。



妙光寺山の崩落現場



平成26年度 予算編成の 取り組み

かじ やま いく よ
梶 山 幾 世

問 行政評価の活用等予算編成の考え方は。

答 市の計画をロードマップで評価し、行政評価により予算編成に向かっている。集中財政改革プランの中で、市民ニーズを見極め、無駄を省き、財源を機能的に使うという観点からの予算編成と考えている。

問 4月からの消費税3%アップによる財政の影響は。

答 地方消費税の交付金は増えるが、支出の部分で全て消費税率が上がる。差額は交付金で調整される恐

れがあり、財政運営にプラスになるかはわからない。

問 国は地方交付税の算定を行革努力と地域活性化の観点から、頑張る地方を息長く支援するとのことであるが、今後の人材育成策は。

答 今年度から職員を国土交通省に派遣している。次年度は別の省庁への派遣を考えている。また、内部協議に力を入れ、情報収集、政策検討をしていきたい。

◎成年後見制度の充実を

問 市民後見人候補者の養成、登録バンクが必要では。

答 専門職の中から家庭裁判所が選任した方が安心と考える。

問 総合相談窓口はあるが、相談体制の周知啓発が必要では。

答 民生委員の研修等で地域への啓発に繋げていきたい。



野洲市議選に出馬すること

なか つか なお のり
中 塚 尚 憲

問 立候補予定者の個人情報の取り扱いに対する考えは。

答 氏名等の個人情報に関しては、立候補の手続きについて説明を受け、立候補届出書類を受理された時点で、公職の立候補者となるべき準備を開始されたものと解している。慣行として公にされる情報として扱い、従来から選挙での立候補者情報はマスコミを通じて提供することで、市民の知る権利の保障、

公正で透明な選挙執行に資するものと考えている。

問 選挙ポスター掲示場の掲示位置はなぜ先着順なのか。

答 ポスター掲示は選挙運動であるため、立候補届出が受理されたときからできることとなっている。掲示位置をくじで定めようとすると届出期限の午後5時まで選挙運動を制限することから、当然に届出順としている。

問 選挙結果の候補者への連絡がないことについて

答 選挙結果については、開票所、市のホームページなどで情報提供をしており、ご自身で確認できる術は十分に確保されている。このような情報の確認は、候補者自身が主体的に行うべきと考える。なお、選挙管理委員会からの当選者への当選結果の告知は、開票日の翌日（10月21日）にしている。



野洲市内における小中学校の教職員の過酷な勤務実態について

いな がき せい すけ
稲 垣 誠 亮

問 教職員に対しても労働基準法が適用され、校長が勤務時間を把握する責務を有すると思うが、見解は。

答 同法が適用され、把握の責務を有すると考える。

問 市内小中学校教職員の月間平均時間外勤務時間は。

答 小学校、中学校ともに約35時間である。

問 時間外勤務を算定するのに、教職員自ら書いた申告書を元にしての事だが、野洲小学校においては提出率が28%だが、これで把握できているのか。

答 校長は、個々の健康管理を含め把握できている。今後は、提出率を高めるために教職員に周知する。

問 自己申告は曖昧な時間把握になりやすいので正確な時間管理ができるタイムカードを設置できないか。

答 学校教育法施行規則に出勤簿の定めがあり、教職員に手間を強いるので合理性に欠ける。

問 教職員が多忙過ぎる環境は、いじめの兆候に気づかなかつたり、気づいても、なかったことにしておきたいという心理を誘発しやすい可能性があると考えるが。

答 子どもと向き合う時間が減り、いじめを含め各種問題が起こり得る。本市の今年度4月から11月までのいじめの件数は、37件である。



野洲小学校

平成25年度 政務活動費の収支状況（改選前 4月～10月分）

本市では地方自治法及び市条例に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員一人当たり年間12万円の政務活動費を会派又は議員に交付しています。今年度は10月末で任期満了となったため、改選前については、4月から10月分として議員一人当たり7万円を交付しました。

（単位：円）

会 派 名	会派人数	交付額	支出額	返還額	自己資金
野 洲 ネ ッ ト	4 人	280,000	263,706	16,294	0
野 洲 新 風 ク ラ ブ	4 人	280,000	50,140	229,860	0
政 友 会	4 人	280,000	270,082	9,918	0
新 政 ク ラ ブ	3 人	210,000	259,010	0	49,010
日本共産党野洲市議会議員団	3 人	210,000	214,191	0	4,191
公 明 党	2 人	140,000	140,011	0	11
合 計	20 人	1,400,000	1,197,140	256,072	53,212

●懇談会を開催

参加者アンケート集計

※無回答の項目があるため回答人数と回答数には差が生じます。

【回答人数】 39人

【お住まい】 市内38人 市外1人

【性別】 男性33人 女性3人

【年齢】 20歳代 …… 2人
30歳代 …… 1人
40歳代 …… 2人
50歳代 …… 5人
60歳代 …… 17人
70歳代以上 …… 9人

【開催情報の入手方法】

自治会の回覧 …… 8人
議員の呼び掛け …… 5人
ホームページ …… 2人
議会だより …… 13人

【感想】

わかりやすかった …… 7人
どちらともいえない …… 20人
わかりにくかった …… 3人

【時間】 長かった …… 2人
ふつう …… 25人
短かった …… 2人

【資料】 多い …… 1人
ふつう …… 24人
少ない …… 6人

【評価】 評価する …… 14人
どちらとも言えない …… 8人
評価しない …… 5人



★コミセンきたの
11月24日(日)13時30分～

参加者
13人

★コミセンみかみ
11月25日(月)19時～

参加者
10人

★コミセンひょうず
11月27日(水)19時～

参加者
16人

アンケートによるご意見・ご要望

○主なご意見等

- ・野洲らしさ、自然豊かな野洲を象徴するような駅前になるようお願いしている。
- ・財政報告は早くて分かりにくかった。
- ・議会報告会に魅力が少ないのでは。
- ・今回、市議会の選挙の結果を見ても、若い人、これからの方がどれだけ参加してもらえるかを考えていただきたい。
- ・市民のことや市民ができることがあれば、どんどん提案していただきたい。
- ・今回初めて参加したが、これからもっと参加し、まずは今、市はどのような状況なのか、どのような問題があるかを学んでいきたい。

- ・貴重な意見は聞こえはいいが、どう反映させるのかを具体的に知りたい。
- ・弱くって、小さくって、遠くの市民に気持ちを向けてほしい。
- ・変化に合わせて未来の計画を進めてほしい。
- ・新病院の整備について、まだまだ市民に情報が共有されていない。
- ・今回、市議会の選挙の結果を見て、出ようとかいう人がおられ、もっと定数を減らし少数精鋭で行うべきである。
- ・議員個人の意見を話してほしい。特に賛否の分かれた事案は、個人の意見を聞きたかった。
- ・議会の市民への働きかけは是としたい。

第6回

議会報告会

議会報告会・懇談会での質疑応答・ご意見

◆議会報告会での主な質問

Q 平成24年度予算で完了できていない事業が6億円ぐらいあるが、どのような状況か。

A 平成24年度で事業が完了していない事情があり、平成25年度へ繰り越すものである。

Q 民間企業に補助しているにもかかわらず、法人市民税の落ち込みはどういうことか。

A リーマンショック後、バブルがはじけて、景気低迷する中で企業の収益が上がらない状況下で、法人市民税の大きな落ち込みとなっている。

Q 台風18号の影響で野洲駅周辺が一部浸水したが、今後の治水計画は。

A 妓王井川上流の一部区域の排水をJRを横断する河川に流すため、童子川上流及び友川の拡幅工事を進めている状況である。

Q 財政が厳しくなるが、長期的な対応策は。

A 現在、行財政プランを作成中である。

◆懇談会での主なご意見

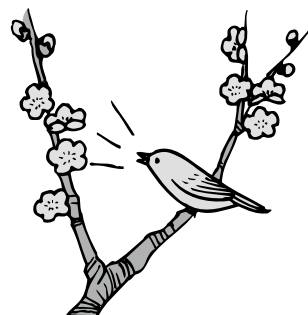
○新病院の整備について

- ・今回、市長から提案されている南口だが、あの限られた場所の中で将来、駐車場とか、病院としての施設の増設が仮に必要なとき、増設が可能か。
- ・駅前の者にとっては皆さんとは若干違う。駅前の真ん中にどんと病院が来る。駅前の者として苦悩している。
- ・いろんなところからアクセスしやすい場所がよい、またやすらぎを感じるところで治療に専念できるような場所がいいと思う。
- ・病院は赤字経営が多いので、反対はしていないが計算、経営の能力を持ってやらないといけないうし、たいへんなことになる。

- ・病院をつくることと、それに伴う交通面、浸水面、環境問題、また、商業活性化とは合わせて整備していくのか。
- ・南口の活性化を図るプロジェクトみたいなものが必要ではないか。
- ・財政が大変なのかということをお聞きたい。
- ・病院をつくることはいいのだが、場所についてもう少し検討してほしい。
- ・病院をいらないと言う人はいないのではないか。病床199は経営的に難しいのではないか。景観条例に照らし合わせて場所を決めてほしい。
- ・行政はやることはやっているが、民意がどこまで入っているのかが分からない。議員が進んで議員の立場で問題点を市民に提供してほしい。

○新しい議会に望むこと

- ・意見がないという議会にならないように。主義主張のみに走らない議会、妥協点を見いだせるものがあるか、知恵を出し合い支持者だけでなく5万人の市民の代表であることを忘れないでほしい。
- ・街頭に立つときは、少し勉強していただきたい。
- ・今回の選挙は、一人だけ定数を超えた選挙で、議会に対する人気が減った。議会の魅力を感じとって、戦う議会にしていいただきたい。危機感を感じている。



今後の議会予定

月 日	曜日	種 別	開議時刻	摘 要
2月26日	水	本会議	9:00	上程議案の提案説明
3月5日	水	本会議	9:00	議案質疑、代表質問
		委員会	本会議終了後	予算常任委員会
6日	木	本会議	9:00	代表質問、一般質問
7日	金	本会議	9:00	一般質問
		委員会	本会議終了後	都市基盤整備特別委員会
10～14日	月～金	委員会	9:00	委員会審査
17日	月	委員会	9:00	委員会審査
20日	木	委員会	9:00	予算常任委員会
25日	火	本会議	13:00	委員長報告、討論、採決

※上記日程は都合により変更される場合があります。

No.37 表紙写真



平成25年 第4回臨時会(初議会)

平成25年11月8日、改選後初となる第4回臨時会が開催され、新任議員8人を含む20人の議員による野洲市議会の委員会等の構成が決まりました。

傍聴のごあんない

傍聴を希望される方は、原則、自由に議場または委員会室(野洲市役所本館3階)の傍聴席にお入りいただくことができます。

写真募集

「やす市議会だより」の表紙に掲載する写真を募集しています。どなたでも応募可能です。応募方法は野洲市議会事務局まで。

- TEL (077)587-6034
- FAX (077)586-4300
- メール gikai@city.yasu.lg.jp

議員の表彰について

○湖南地区市議会議長会(平成25年11月)

鈴木 市朗 議員(在職25年)

河野 司 議員(在職25年)

※旧町の年数は表彰規程に基づき換算し、加算されています。

野洲市議会出前懇談会を実施しています!

野洲市議会では、議員が出向いて市民のご意見等を直接お聴きする『出前懇談会』を年間通して実施しています。お申し込みは野洲市議会事務局まで。

- 対 象 市内に在住又は在勤している人で構成する概ね5人以上の団体やグループ
- 懇談テーマ 市政の重要課題等
- 開 催 日 開催期日は問いませんが、開催希望日の20日前までにお申込みください。
- 開 催 時 間 午前9時から午後9時までの間で、1回につき2時間以内
- 問 合 せ 先 野洲市議会事務局 (TEL 587-6034) まで



昨年11月より新たな議会体制となりました。市民の代表として、しっかりと市政に携わっていきます。

今回から新たな議会だより編集委員会のメンバーで11月議会では、台風18号による被害への対応等についても議論しました。台風や地震等は自然現象であり、発生を防ぐことはできません。

しかし、災害への万全な備えとともに被害への対応は迅速にしなければなりません。

議会としても安全、安心の野洲のまちづくりに一層尽力していきます。

立春とはいえ寒い時季です。ご自愛ください。

編集委員長 山本 剛

編集後記

